

◆初乳で与える免疫力

生まれた子牛にとって、初乳はたいへん重要です。栄養分に富む食物であることと、母牛の持っている免疫（病気に対する抵抗力）を、子牛に与える役割があるからです。母子免疫は、人間では母親の体内にいる時期（胎児期）に、胎盤を通して赤ん坊へと移り変わります。そのため、誕生時にはすでに免疫が備わっています。牛では残念ながら、胎児期に母牛からもらうことはできません。

したがって、病気に対して全くの無防備の状態で子牛は生まれてくるのです。新生子牛は初乳を飲むことによって、初めて病気に対する抵抗力を得ることができます。出生後、2時間経っても起きあがれず、自力では乳できない虚弱な子牛には、母牛の乳を搾ってほ乳させます。1回当たりのほ乳量は、300ml～500mlで、これを1日6回程度飲ませます。1日当たりの給与量は「体重の10パーセント」が一応の目安です。